



イメージ写真

棟方志功

近代日本の生んだ希有の芸術家・棟方志功(1903年～1975年)。没後40年以上たった現在でも、その人気は不動で、「世界のムナカタ」として国際的にも高い評価を得ています。独学で油絵や版画を修得、独自の感性で自らの作品を「板画(はなが)」と称し、その一点一点を「柵(さく)」と表現した棟方は、一柵一柵に想いを込め、生涯の道標を置いて行くように制作を続けました。また「倭画(やまとが)」と称する肉筆画や書も数多く残し、根強いファンを得ています。1955年サンパウロ、56年ヴェニス、の両ビエンナーレで連続して大賞を受賞。1970年には文化勲章を授与されました。



レセプション会場で乾杯する棟方志功(1969年)

今泉記念館アートステーション・棟方志功アートステーションの棟方コレクション

生誕地青森の棟方志功記念館を始め、関連の美術館が全国に十館余りありますが、中でも今泉記念館アートステーション、並びに新潟県六日町の棟方志功アートステーションで展覧される棟方志功作品は、人気の高い美人画や大首絵を中心とした、非常にユニーク、かつ価値あるものです。

1948年 六日町に生まれ、43歳の若さで急逝した実業家田中政之氏が、その生涯をかけて蒐集した内外の美術品400点余りが、これら二つの美術施設の収蔵品となっています。その内、棟方作品は144点。代表作「二菩薩釈迦十大弟子」も一点一点時間と手間をかけて集められたもので、蒐集家の熱意の結晶とも言えましょう。



建築家・香山壽夫の設計による今泉記念館全景(上)と館内(下)

第3回サロントーク「棟方志功と友人たち」 ※サロントーク後、館内をご観覧いただけます。

平成28年11月12日(土) 15時～15時30分 今泉記念館2階ホールにて

サロン・トーク 講師 石井頼子

1956年、棟方志功の長女・けようの長女として東京都に生まれる。棟方と生活を共にし、その制作風景に接しながら育つ。慶應義塾大学文学部を卒業後、2011年の閉館まで棟方板画美術館に学芸員として勤務。展示会監修や執筆活動、講演などを通じ、知られざる棟方の紹介に努めている。近著に「棟方志功の眼」2014年 里文出版、「言霊(ことだま)の人 棟方志功」2015年 里文出版、「もっと知りたい棟方志功 生涯と作品」2016年 東京美術。日本民藝館運営委員。



「世界のMUNAKATAに酔う」Vol.3

平成28年11月12日(土) 15時～17時

会場:道の駅南魚沼 今泉記念館 アートステーション

会費:4,000円(軽食日本酒代・入館料を含みます)

申し込み:参加ご希望の方は、氏名・電話番号・FAX番号を

明記の上、FAXまたはお電話にてお申し込み下さい。

南魚沼市観光協会 担当:荒川・牧野

FAX.025-783-3388/TEL.025-783-3377

締切り:平成28年11月6日(日)17時まで

主催:一般社団法人 南魚沼市観光協会、道の駅南魚沼「雪あかり」

協賛:青木酒造株式会社、高千代酒造株式会社、八海醸造株式会社

後援:南魚沼市、塩沢商工会、しおぞわ農業協同組合、塩沢織物工業協同組合、石打地区まちづくり協議会

南魚沼「秋の魅力探訪」ツアーバス

遠方からお越しのお客様の為に、魅力あふれる秋の南魚沼を探訪するツアーをご用意いたしました。詳しくは南魚沼市観光協会までお問合せ下さい。

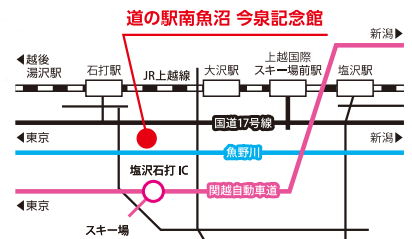
<http://m-uonuma.jp/> TEL 025-783-3377
宿泊プランもございます!

行程:JR越後湯沢駅(東口R353広域観光駐車場)→関興寺(抹茶体験 500円)→トミオカホワイト美術館→上田の郷(日本一のコシヒカリを粉で炊く「ぬか釜」体験と昼食・参加費1,500円)→牧之通り(雁木通り)→道の駅南魚沼

集合場所:JR越後湯沢駅新幹線改札口

集合時間:9時30分

※お帰りは今泉記念館17時発 越後湯沢駅行きのバスがございます。



道の駅南魚沼 今泉記念館 アートステーション

営業時間/9時～17時

一階 観光案内所/二階 アートステーション

〒949-6363 新潟県南魚沼市下一日市855

TEL.025-783-4500

<http://www.michinoeki-minamiuonuma.jp/>